

**製品名: DDX5 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21403**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:69kD;Observed MW:69kD

**抗原情報**

遺伝子名	DDX5
別名	DDX5;G17P1;HELR;HLR1;Probable ATP-dependent RNA helicase DDX5;DEAD box protein 5;RNA helicase p68
遺伝子 ID	1655.0
SwissProt ID	P17844
免疫原	ヒト DDX5 の合成ペプチド

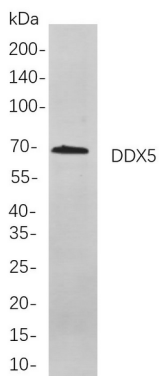
**背景**

細胞局在: 核。DEAD ボックスタンパク質は、保存された Asp-Glu-Ala-Asp (DEAD) モチーフを特徴とし、RNA ヘリカーゼと推定される。翻訳開始、核およびミトコンドリアにおけるスプライシング、リボソームおよびスプライソソームの組み立てなど、RNA 二次構造の変化を伴う多くの細胞プロセスに関与している。分布パターンに基づくと、このファミリーの一部のメンバーは、胚形成、精子形成、細胞の成長および分裂に関与していると考えられている。この遺伝子は、RNA 依存性 ATPase である DEAD ボックスタンパク質をコードしており、増殖関連核抗原としても機能し、サルウイルス 40 腫瘍抗原と特異的に反応する。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016 年 2 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



DDX5 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。